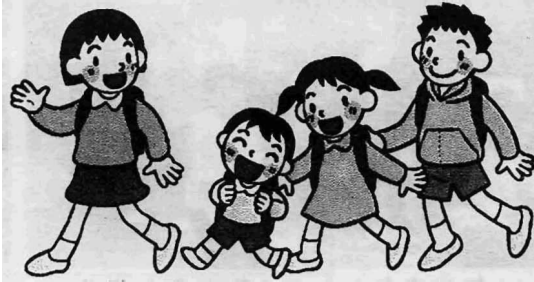


学校だより

5月号

横浜市立若葉台西小学校



地域みんなで「おかえりなさい」

学校長 井上 光枝

芽吹きの緑が美しい季節になりました。一口に緑といっても実にたくさん色合いがあり、それぞれがその外の色により、美しさを引き出されているように思われます。

新学期が始まってから一月、子どもたちは張り切って新しい先生とともに新しいクラスづくりに励んでいます。また、保護者の皆様による「見守り隊」もスタートいたしました。自治会の見守りも少しずつ充実してきています。ありがたい限りです。

ある新聞の投書欄にこんな記事がありました。・・・子どもたちの安全で安心な下校に向けて「おかえりなさい運動」が始まった。自分が子どものとき親は働いていて帰りが遅く、「おかえりなさい」で始まる手紙をいつも置いてあった。「おかえりなさい」は親子の絆の言葉なのだ。今、そんな子どもたちが地域の方やPTAの方に「おかえりなさい」と温かく迎えられている。・・・という内容のものでした。親ができないことを地域の方やPTAの方々にやっていただいている。なんとありがたいことでしょう。

さて、今年度になって20日あまりの中で「うちの子がまだ帰っていません」と帰宅時間かなり過ぎてから保護者の方が学校に見えたということが3件ありました。1件は学校に残って飼育小屋の掃除に時間を忘れて取り組んでいました。他の2件は、家に着いたとき誰もいなかったり鍵を持っていなかったりで近くの家で預かってくださっていました。事件ではなくて本当によかったと思います。学校では連絡を受けたときの対応は、全職員で①学校の内外を探す。②帰るとき誰と帰ったか、どのような会話をしていたか、例えば「〇〇ちゃんと遊ぶ約束をしていた」などを担任から一緒に帰ったお友達の家へ電話をして聞き取る。それでも分からないときは③学級連絡網でいないことを伝え、探す。全家庭に協力していただくことになります。ここまでしても見つからない場合は家族から警察へ捜索願を出すことになります。

先ほどの2件はご近所の方の親切に助けていただいた例です。「もし鍵を忘れて家に入れなかったら」「家の人帰ってくるより早く家についてしまったら」など不測の事態にはどのようにするかよく話し合っておき、日ごろからご近所、仲良しのお友達の家とも連絡を取り合い、助け合うことができるようになると思います。大人が仲良く、連絡を取り合っていることがさらに充実した安全対策につながります。